

第37回●シンポジウム・パークスターン2023

「パキスタンの農業・山岳地域の魅力と可能性」

◇とき 2023年11月11日(土) 10:30～17:45

◇ところ 日本大学文理学部3号館2階3206教室

◇会費 会員2,000円、一般3,000円、学生無料、懇親会費2,500円

◇定員 70名(先着順)



■講演1 (3号館2階3206教室 10:30～12:00)

主催者挨拶 今泉 濬 (公財)日本・パキスタン協会会長
来賓ご講演 H.E. Mr. Raza Bashir Tarar 駐日パキスタン大使
『最近のパキスタン情勢』 Mr. Tahir Habib Cheema
パキスタン大使館 商務参事官

■講演2 (3号館2階3206教室 13:00～17:45)

「パキスタンの農業・山岳地域の魅力と可能性」

●パキスタン農業の特徴と近年の新たな展開／黒崎 卓

(一橋大学 経済研究所 教授)

パキスタン農業の伝統的な特徴(酪農と結びついた有畜農業、灌漑農業、機械化が進んだ大規模農場からの輸出余力など)について説明。また、新たな展開であるアグリビジネスと結びついた契約農業、農業金融のイスラーム化の2点について紹介。

●パキスタン北部ゴジャール地区における生業と生活様式の変容／

落合 康浩(日本大学文理学部 教授)

魅力的な山岳景観に囲まれるゴジャール地区では、交通路も改善され、観光地化の進展が著しい。一方で、伝統的な農牧業は大きく変質してきており、持続的な地域社会実現の可能性について考える上で検討すべき課題は多い。

●チトラル地方の伝統的な農耕・牧畜と近代化の諸相／丸山 純

(大東文化大学 社会学部 非常勤講師・地平線会議同人)

ヒンドークシュ山脈の東端、クナール川流域に広がるチトラル地方は、雪に閉ざされる冬期は陸の孤島となる。そこで営まれてきた伝統的な牧畜や農耕、狩猟を紹介しながら、近代化や観光化による人々の心の変化も考えてみたい。

●パキスタンの山に育てられて／平出 和也

(登山家・石井スポーツ所属アスリート)

フンザの北、シスパーレ7,611mには4度目の挑戦で登頂する事ができた。何度も敗退をする度に、登山家として何が足りないのか、人間として何が未熟なのか、山々から多くを教わってきた。

●パネル・ディスカッション／司会 丸山 純

■懇親会 (3号館1階 食堂コスモス 18:00～20:00)

4年振りの開催です。立食にてご歓談をお楽しみください。

(コロナ後の学校の規則に従い、懇親会でのアルコールのご提供はありません)

◇お申し込み方法

裏面のお申込みの内容を、電話、Fax、メールまたは郵送にてご連絡下さい。

公益財団法人 日本・パキスタン協会

Tel:03-5327-3588 Fax:03-5327-3598

e-mail: kyokai@japan-pakistan.org

住所: 〒166-0002

東京都杉並区高円寺北2-29-14-202

当日は混雑が予想されます。事前のお振り込みにご協力をお願い申し上げます。

◇お振り込み先

下記へお振り込みください。

- ・三菱UFJ銀行 青山通支店〈普〉No.0038524
- ・みずほ銀行 渋谷中央支店〈普〉No.1731897
- ・三井住友銀行 青山支店 〈普〉No.5218954
- ・郵便振替口座 00100-7-20299

〈アクセス〉



日本大学文理学部

住所: 東京都世田谷区桜上水3-25-40

電話: 03-5317-9677 (庶務課)

最寄り駅: 京王線「下高井戸」駅、「桜上水」駅

※ 昼食は3号館1階の学食・コンビニエンスストアが14時までご利用いただけます。

※ 新型コロナウイルスの感染状況など、やむを得ぬ事情により登壇者が変更になる可能性があります。予めご了承ください。

主催: 公益財団法人 日本・パキスタン協会

